



Providing
Total Packaging
Solutions

ONE
TEAM

第75期 第2四半期

株主 通信

OHISHI SANGYO

2020年4月 1 日から
2020年9月30日まで

ロジスティクスに最適解を
大石産業株式会社

証券コード:3943

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、当社は2020年9月30日をもって、第75期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)事業年度の第2四半期を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

事業の経過およびその成果

当期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により萎縮した経済への政府による刺激策にもかかわらず、感染第2波の拡大もあり、景気は依然として厳しい状況で推移しました。また、世界各国においても経済活動再開の動きは見られるものの、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは「TPS(トータル・パッケージング・ソリューション)提案」により顧客満足を徹底的に追求するとともに、全社をあげてイノベーション活動に取り組み、業績向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、フィルム製品、樹脂成型品の増収に加え、昨年第2四半期に連結子会社化した柳沢製袋株式会社の増収効果もありましたが、海外部門、国内重包装袋製品、パルプモールド製品、段ボール製品の減収により、90億82百万円(前年同期比2.6%減)となりました。営業利益は5億45百万



代表取締役社長

久継 雅夫

円(前年同期比24.2%増)、経常利益は6億2百万円(前年同期比16.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億11百万円(前年同期比21.3%増)となりました。増益の主な要因については、M&A関連費用やコロナ禍により販売費及び一般管理費が減少したことによるものです。

なお、配当金額につきましては、中間配当金額は1株につき28円、2021年3月期の期末配当につきましても同28円を予想しております。

今期の見通し

通期の業績予想につきましては下記のとおりです。なお、5月19日に公表しました業績予想に変更はありません。

売 上 高	20,300	百万円 (前期比 6.0%増)
営 業 利 益	1,045	百万円 (前期比 4.8%増)
経 常 利 益	1,250	百万円 (前期比 5.2%増)
当期純利益	835	百万円 (前期比 0.8%増)

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

CONTENTS

TOP MESSAGE	1
連結業績ハイライト	3
主要連結財務データ	4
セグメント情報	5
TOPICS	7
株式の概況	9
会社の概況	10

売上高	9,082 百万円	(前年同期比 2.6%減)
営業利益	545 百万円	(前年同期比 24.2%増)
経常利益	602 百万円	(前年同期比 16.6%増)
四半期純利益	411 百万円	(前年同期比 21.3%増)

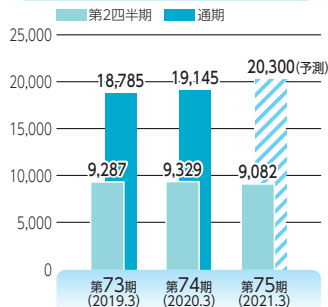
第2四半期決算のポイント

売上高につきましては、フィルム製品、樹脂成型品の増収に加え、昨年第2四半期に連結子会社化した柳沢製袋株式会社の増収効果もありましたが、海外部門、国内重包装袋製品、パルプモールド製品、段ボール製品の減収により、減収となりました。

利益につきましては、主な要因としてM&A関連費用やコロナ禍により販売費及び一般管理費が減少したことにより、増益となりました。

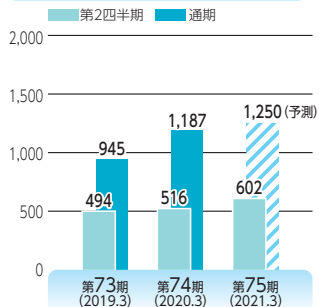
売上高

(百万円)



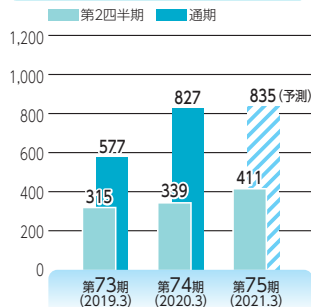
経常利益

(百万円)



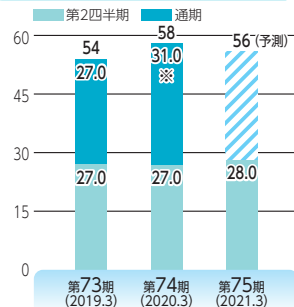
四半期純利益

(百万円)



1株当たり配当金

(円)



※上場40周年記念配当2円含む

科 目	第73期第2四半期 (2018.9)	第73期通期 (2019.3)	第74期第2四半期 (2019.9)	第74期通期 (2020.3)	第75期第2四半期 (2020.9)
売上高 (百万円)	9,287	18,785	9,329	19,145	9,082
営業利益 (百万円)	403	759	438	997	545
経常利益 (百万円)	494	945	516	1,187	602
四半期 (当期) 純利益 (百万円)	315	577	339	827	411
総資産 (百万円)	21,404	21,006	21,651	21,959	21,538
純資産 (百万円)	13,705	13,407	13,491	13,798	14,094
1株当たり四半期 (当期) 純利益 (円)	78.64	145.84	87.79	214.49	106.69

緩衝機能材事業

売上高 **40億78** 百万円

営業の概況

パルプモールド部門は、テイクアウト需要増により持ち帰り用トレイが増収となりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で業務用鶏卵トレイが数量減となり、畜産物分野が減収となりました。青果物分野では天候不順の影響や需要減により減収となり、パルプモールド部門の売上高は23億17百万円(前年同期比6.5%減)となりました。

段ボール部門は、工業品分野が増収となりましたが、農業分野は天候不順の影響により減収となり、売上高は13億63百万円(前年同期比3.7%減)となりました。

成型部門は、中食需要が好調に推移したことで増収となり、売上高は宙吊り式包装容器(ゆりかご)とあわせて3億96百万円(前年同期比5.1%増)となりました。

その結果、当事業の売上高は40億78百万円(前年同期比4.6%減)となり、セグメント利益は4億60百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

●製品紹介

[パルプモールド]

ドリンク持ち帰り用トレイ

新聞古紙を主原料としてリサイクルされたパルプモールド製品です。ファストフード店でのドリンク持ち帰り用として利用されています。
これからも環境負荷の低減に努めてまいります。



[段ボール]

工業分野段ボール

加工食品や化成品、電気器具類等の工業分野でご利用いただいております。スピーディなご提案でお客様のご要望にお応えいたします。



[成型]

食品トレイ

中食(なかしょく)需要増加に伴い、スーパーやコンビニで販売される弁当や惣菜の食品トレイ用フィルムの製造から食品トレイの製造までを一環して行っております。



包装機能材事業

売上高 **47億82** 百万円

営業の概況

フィルム部門は、食品容器用PSフィルムが需要増により増収、工業分野向けや衛生材用機能キャストフィルムも好調で増収となり、売上高は19億54百万円(前年同期比10.1%増)となりました。

重包装袋部門は、海外は新型コロナウイルス感染症に伴うマレーシア政府による活動制限令発令の影響に加えて、合成樹脂・化学薬品向けの需要減により減収となりました。国内も、新型コロナウイルス感染症の影響により、合成樹脂・化学薬品向けで減収となり、重包装袋部門の売上高は28億28百万円(前年同期比6.0%減)となりました。

その結果、当事業の売上高は47億82百万円(前年同期比0.0%減)となり、セグメント利益は4億66百万円(前年同期比6.3%増)となりました。

●製品紹介

[フィルム]

食品容器用フィルム

当社のポリスチレンフィルムは、食品容器の強度と美粧性を向上させることができます。福岡県と茨城県の2拠点で製造しておりますので、全国のお客様への供給体制を整えています。



[重包装袋]

合成樹脂・肥料用袋

お客様に安心して使っていただくために、徹底した品質管理を行っております。高機能化学品分野においても高品質をお約束いたします。



1 2020日本パッケージングコンテスト 6年連続入賞

公益社団法人日本包装技術協会主催の「2020日本パッケージングコンテスト」において、当社の開発品【まるいのまもるくん(円筒形割れ物製品の緩衝材)】が日用品・雑貨包装部門賞を受賞いたしました。同コンテストにおいて当社開発品は2015年の入賞以来、6年連続での入賞となりました。

【まるいのまもるくん】は、梱包時の作業性を向上させるとともに、割れやすいガラス製の瓶や陶器等を安全に運ぶことができる緩衝材です。また、素材は段ボールで出来ているため、使用後のリサイクルも簡単です。

今後も高付加価値の製品・サービスをお客様にお届けするために、イノベーション活動を継続してまいります。



糊やテープを使用しません。



全方向の緩衝距離が均等に保たれます。



差し込むだけなので作業性に優れています。

2 コロナウイルス対策 デスクパーテーション開発

昨今のコロナウイルス感染防止対策の一環として、当社は飛沫感染防止パネル【デスクパーテーション】を開発いたしました。当社の段ボールとフィルムのそれぞれの機能を活かしたオリジナル商品です。中央部分はフィルム貼りで視界を確保、対面での会話にも支障がなく、日常業務での飛沫感染を防止します。外側は段ボールで出来ているため軽量で、設置も簡単です。また、パーテーション幅は調整が可能で、机のサイズに合わせて使用できるようになっております。

地域の皆様のお役に立ちたいとの思いから、この【デスクパーテーション】を北九州市内の病院や公共機関に寄贈し、会議室や居室で有効にご活用いただいております。



コの字使用例



飛沫を
シャットアウト
します。

●株式の状況 (2020年9月30日現在)

(1) 発行済株式の総数 4,664,000株 (自己株式含む)

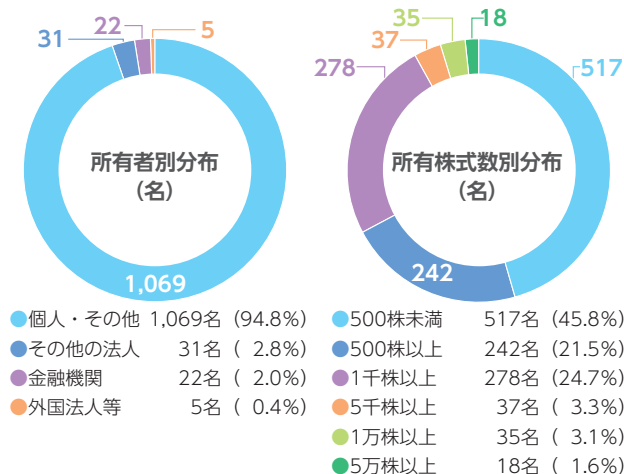
(2) 株主数 1,127名

(3) 大株主

株主名	持株数	持株比率
王子ホールディングス株式会社	381千株	9.65%
OSK社員持株会	286千株	7.25%
株式会社西日本シティ銀行	189千株	4.79%
株式会社福岡銀行	186千株	4.72%
三井住友海上火災保険株式会社	181千株	4.59%
株式会社北九州銀行	175千株	4.45%
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	107千株	2.72%
中村泰子	104千株	2.65%
株式会社ニシキ	100千株	2.53%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	92千株	2.34%

(注) 持株比率は自己株式 (711千株) を控除して計算しております。

(4) 株式分布状況



●会社の概要 (2020年9月30日現在)

商 号	大石産業株式会社 OHISHI SANGYO CO.,LTD.
本社所在地	北九州市八幡東区桃園二丁目7番1号
設 立	1947年2月3日
資 本 金	4億6,640万円
支 店	東京／関西／北九州／九州／ シンガポール
工 場	八戸、茨城、鞍手、小倉、直方
従 業 員 数	343名(グループ580名)
連結子会社	
株式会社アクシス	ENCORE LAMI SDN. BHD.
CORE PAX(M) SDN. BHD.	柳沢製袋株式会社

取締役

代表取締役社長	久 継 雅 夫
専 務 取 締 役	田 中 英 雄
常 務 取 締 役	山 口 博 章
取 締 役	高 田 圭 二
取 締 役	今 泉 弘
取 締 役	藤 村 由 賢
社外取締役 (常勤監査等委員)	宮 地 郁 夫
社外取締役 (監査等委員)	長 門 博 之
社外取締役 (監査等委員)	川 本 惣 一
社外取締役 (監査等委員)	福 地 昌 能

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
公告掲載方法	電子公告制度により行います。 公告掲載URL http://www.osk.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います)
上場証券取引所	福岡
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
郵便物送付先 お問合せ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 ☎0120-707-843

各種手続のお申出先

- 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等、証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求は、インターネットでもお受け付けいたしております。

ホームページアドレス

<https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンタで印刷できます。)

大石産業株式会社

〒805-0068 北九州市八幡東区桃園二丁目7番1号
TEL.093-661-6511 FAX.093-661-1641
<http://www.osk.co.jp/>